

伊勢湾台風写真台帳

長島町

白鷄



写真名称： 長島町白鷄の揖斐川左岸の粗朶沈床沈設作業(1)

エリア： 三重県

撮影箇所： 長島町

撮影日： 1959年

撮影者： 旧建設省

資料提供者： 木曾川下流河川事務所

状況： ー

現地状況、コメント等

〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見（座談会）〕
粗朶沈床を組み上げているところである。粗朶沈床を組み上げた後、石を粗朶沈床上に投げ込み、沈めるものとなる。

体験伊勢湾台風（建設省中部地方整備局、昭和60年）p144に粗朶沈床についての解説がある。それによると、粗朶沈床とは、粗朶で縦横1mの格子を造り、複数の格子をつなぎ、長さ10~20m、幅6~10m、厚さ0.6~0.9mに組み上げたものとされている。これを堤防の破堤口に運び、石を投じて一気に沈める。上から土砂をかけると、粗朶沈床が砂の流失を防ぎ、水深を浅くすることとなる。なお、この作業を繰り返し、水面まで水深が浅くなってから、土のうを積み上げ、水切りするとされている。

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用